

FULLCAST HLDGS.

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

2008年11月4日

2008年9月期 決算報告

株式会社フルキャストホールディングス

Agenda

- ◆ **Highlight 2008年9月期 業績**
(2007年10月～2008年9月)
- ◆ **セグメント別営業業績**
- ◆ **2009年9月期 業績予想**

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

2008年9月期 通期業績

単位:百万円

	2007年9月期	2008年9月期	増減率
売上高	108,301	98,989	-8.6%
売上総利益	27,587	24,429	-11.4%
販売費及び一般管理費	25,507	22,782	-10.7%
営業利益	2,081	1,647	-20.9%
営業利益率	1.9%	1.7%	—
経常利益	1,811	1,530	-15.5%
当期純利益	-674	-2,443	—
1株当たり 当期純利益	-2,536円40銭	-9,222円68銭	—

設備投資額

1,045

710

2008年9月期 特別損益の内容

単位:百万円

投資有価証券売却益	123
-----------	-----

その他	66
-----	----

特別利益	189
------	-----

本社移転費用	236
--------	-----

店舗閉鎖損失	204
--------	-----

のれん等の減損損失	1,397
-----------	-------

その他	524
-----	-----

特別損失	2,361
------	-------

特別損益	-2,173
------	--------

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

バランスシート比較とキャッシュフロー状況

単位:百万円

		2007年9月期決算 期末	2008年9月期決算 期末	増減	増減比
流動資産		29,176	26,441	-2,736	-9.4%
固定資産	有形・無形固定資産	7,614	6,092	-1,522	-20.0%
	投資その他の資産	4,833	4,165	-668	-13.8%
(資産合計)		41,624	36,697	4,926	11.8%
流動負債		19,062	19,723	661	3.5%
固定負債		8,919	6,005	-2,914	-32.7%
純資産		13,642	10,969	-2,673	-19.6%
(負債・純資産合計)		41,624	36,697	-4,927	-11.8%

キャッシュフロー状況

営業活動によるキャッシュフロー

2007年9月期
1,546

2008年9月期
△ 1,621

投資活動によるキャッシュフロー

△ 1,718

△ 867

財務活動によるキャッシュフロー

1,009

△ 399

現金同等物期末残高

12,764

9,878

フリーキャッシュフロー

△ 172

△ 2,488

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

2008年9月期 業績に対するグループ見解

<外部環境>

- 企業収益の悪化や設備投資の減少など景気減速
- 人材サービス業界を取り巻く環境(派遣法改正等)に、大きな変化の兆し

<売上高>

- M&A効果によりテクノロジー事業や営業支援事業が好調なオフィス事業が増収となったものの、スポット事業の選別受注の影響やファクトリー事業が減収となったことから連結売上高は計画未達

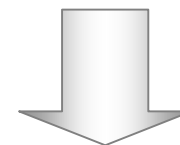
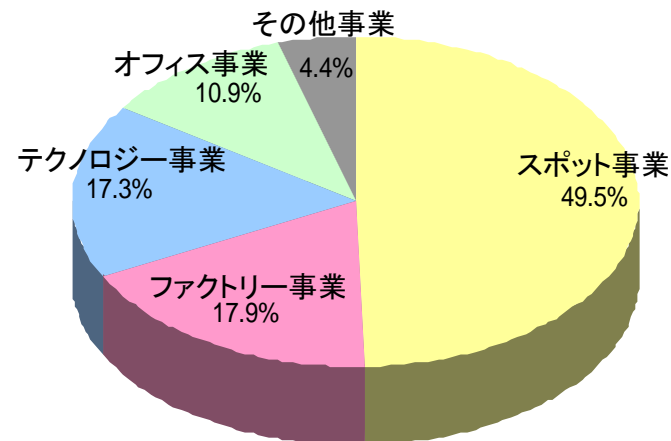
<営業利益>

- スポット事業を中心に販売費及び一般管理費の削減効果はあったものの、売上高減少に伴う粗利減少額を吸収できず減益

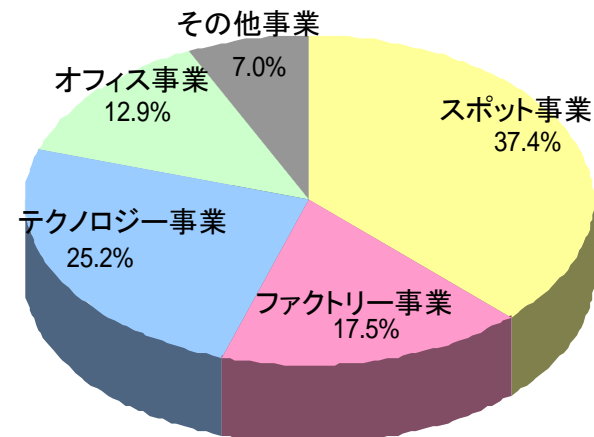
<最終利益>

- 特別損失に店舗閉鎖損失やグループ会社の本社移転費用さらに、未上場子会社ののれん減損損失を計上、繰延税金資産の取り崩しの影響もあり最終利益は損失

2007年9月期セグメント別売上高構成比



2008年9月期セグメント別売上高構成比



スポット事業：収益比較

単位:百万円

	2007年9月期	2008年9月期	増減率
売上高	53,634	37,067	-30.9%
営業利益	1,628	1,538	-5.5%
営業利益率	3.0%	4.1%	—

◇ 倉庫・運輸業や小売業を中心に引き合い継続

◇ 選別受注の実施により粗利率は改善

◇ 拠点統廃合による業務効率化の推進により、販売費及び一般管理費の大幅削減

◆ 受注基準の引き上げによる選別受注の実施が売上高の伸長に影響

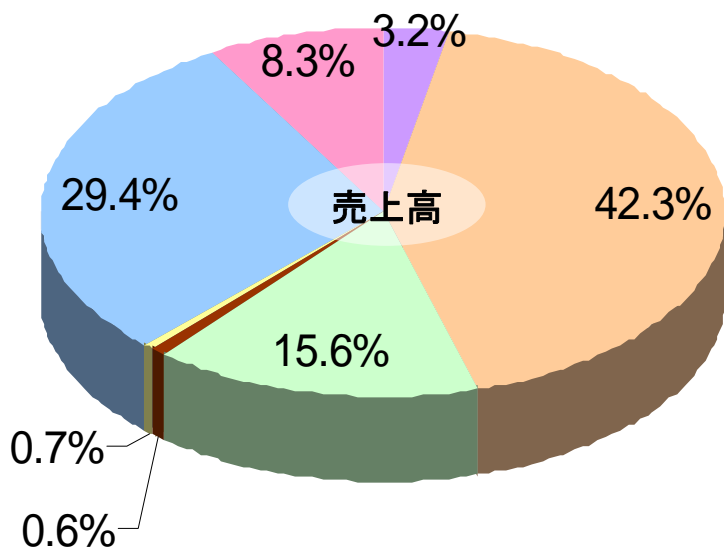
◆ 一部企業にアルバイトにつき自社雇用の動きが散見

◆ 連結子会社の譲渡による売上高の減少

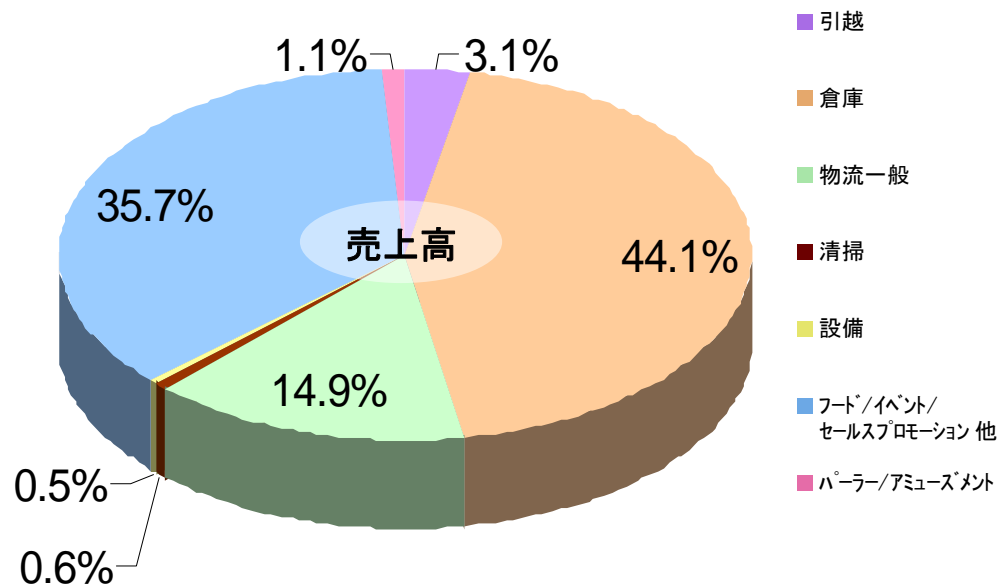
すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

業種別売上高構成比

2007年9月期



2008年9月期



上位20社の占有率

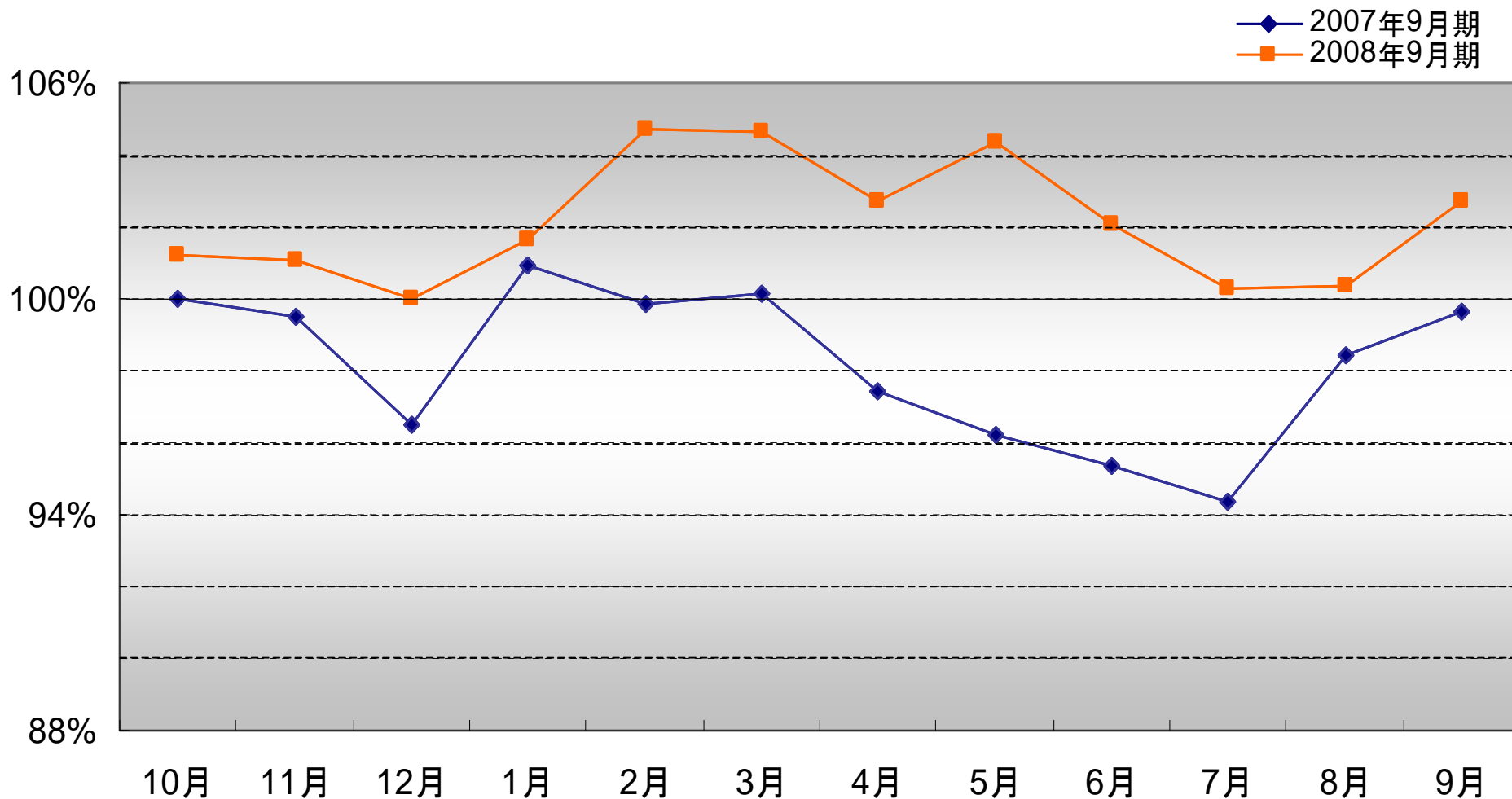
2007年9月期

15.8%

2008年9月期

19.7%

スポット事業：平均受注単価

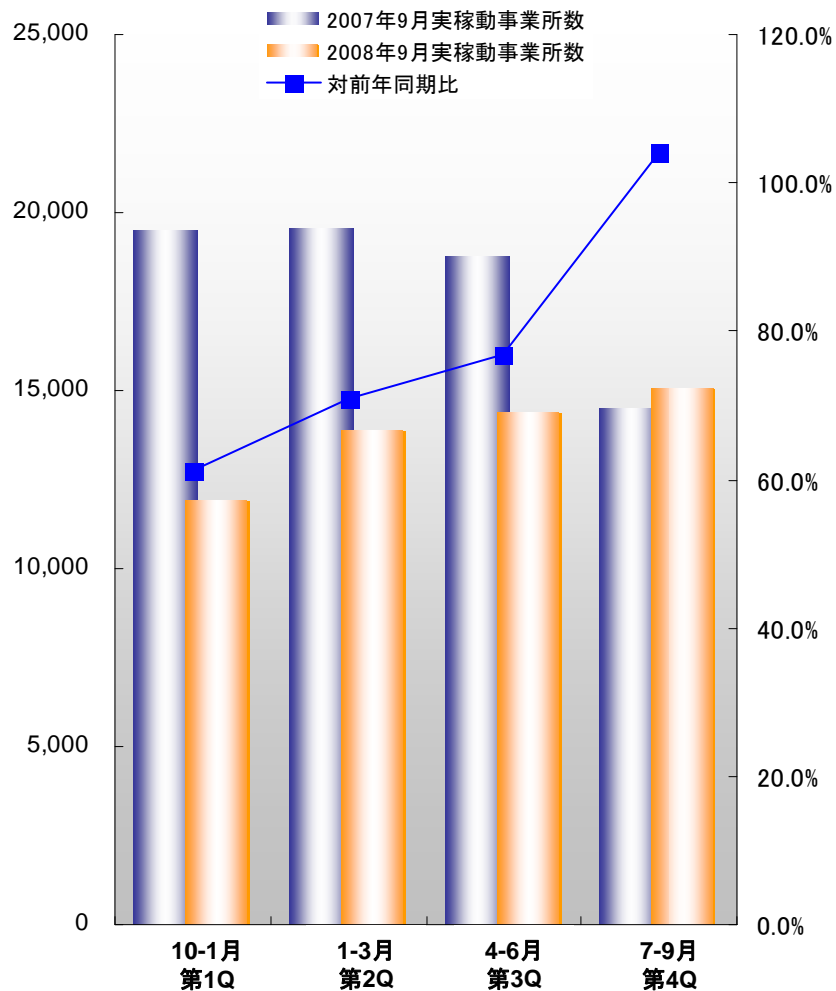


※2006年10月の平均受注単価を100とした場合の推移
1目盛り=2%

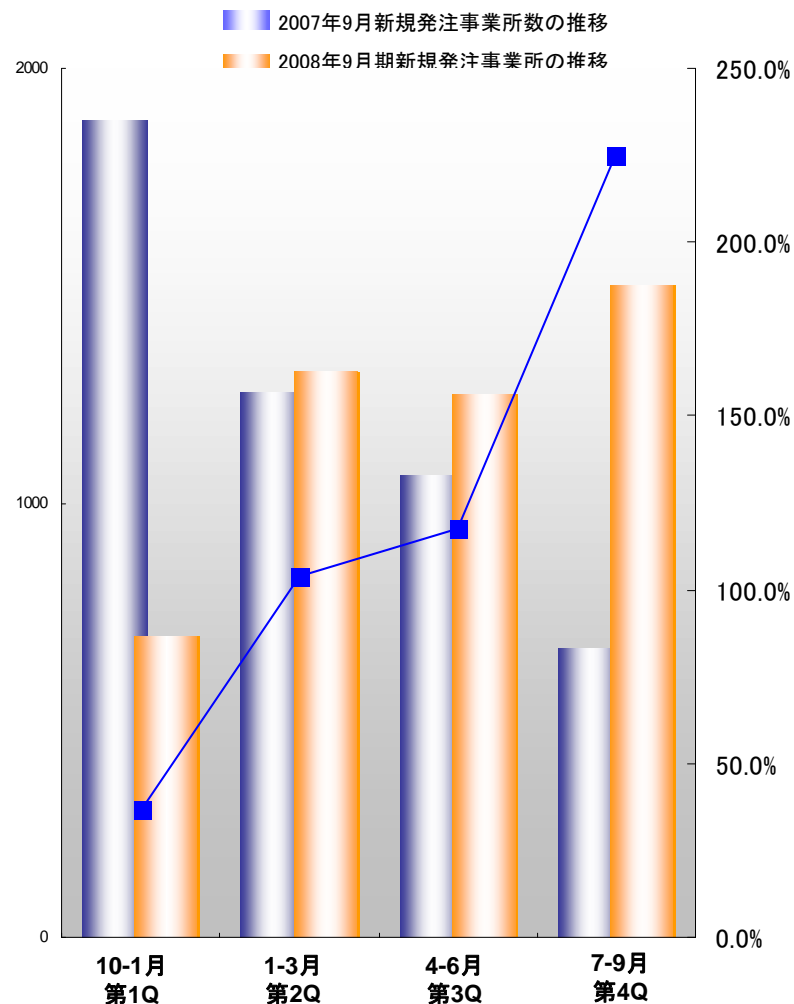
すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

スポット事業：稼働事業所数の推移と前年同期比

実績稼働事業所数の推移



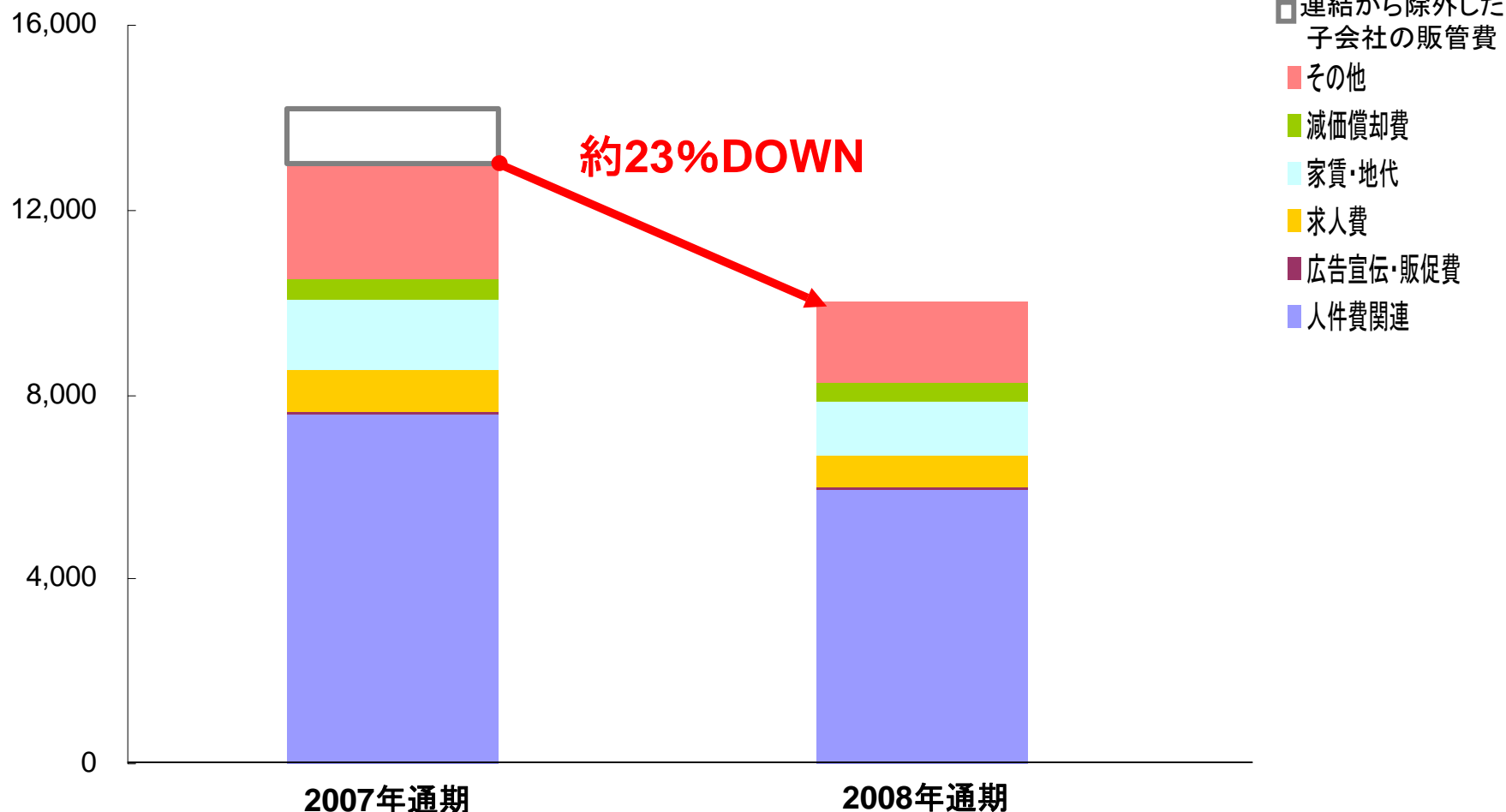
新規発注事業所数の推移



すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

販売費及び一般管理費の状況

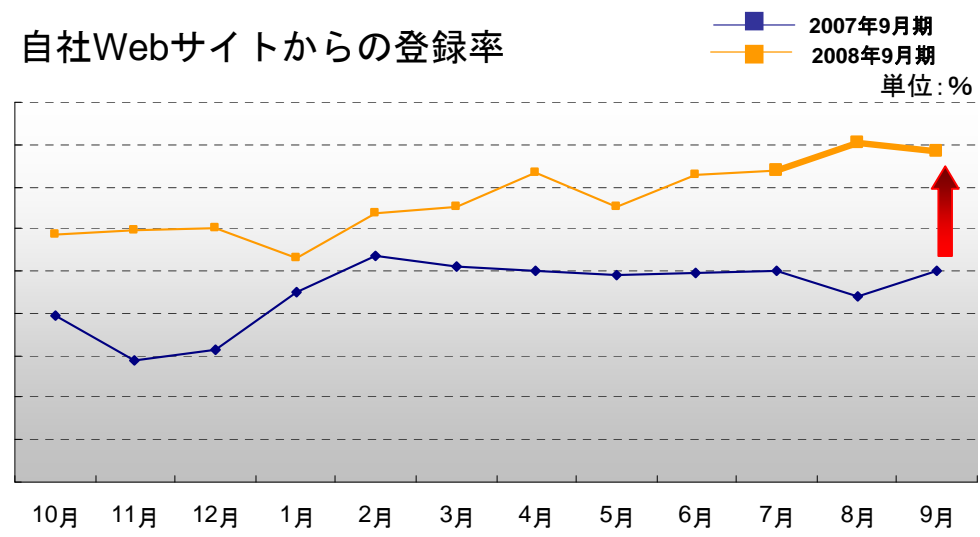
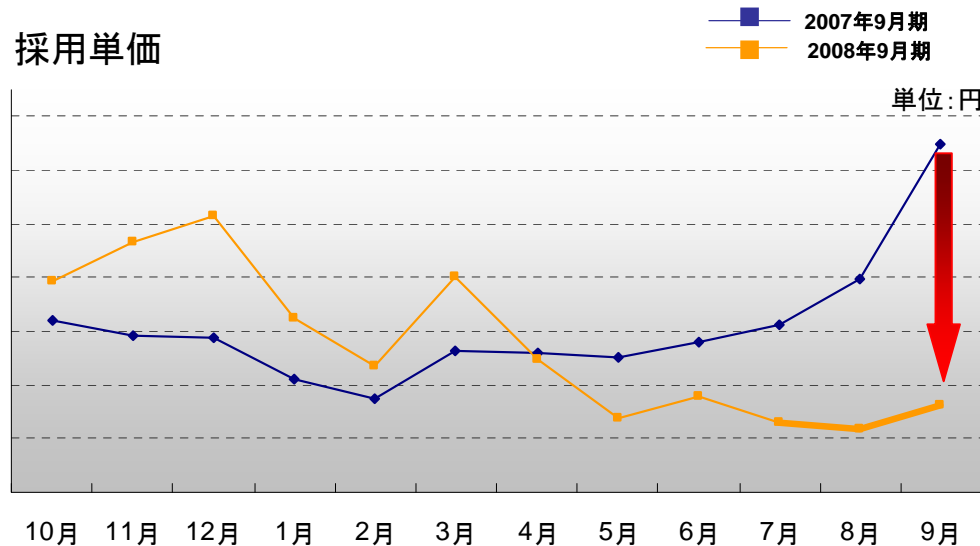
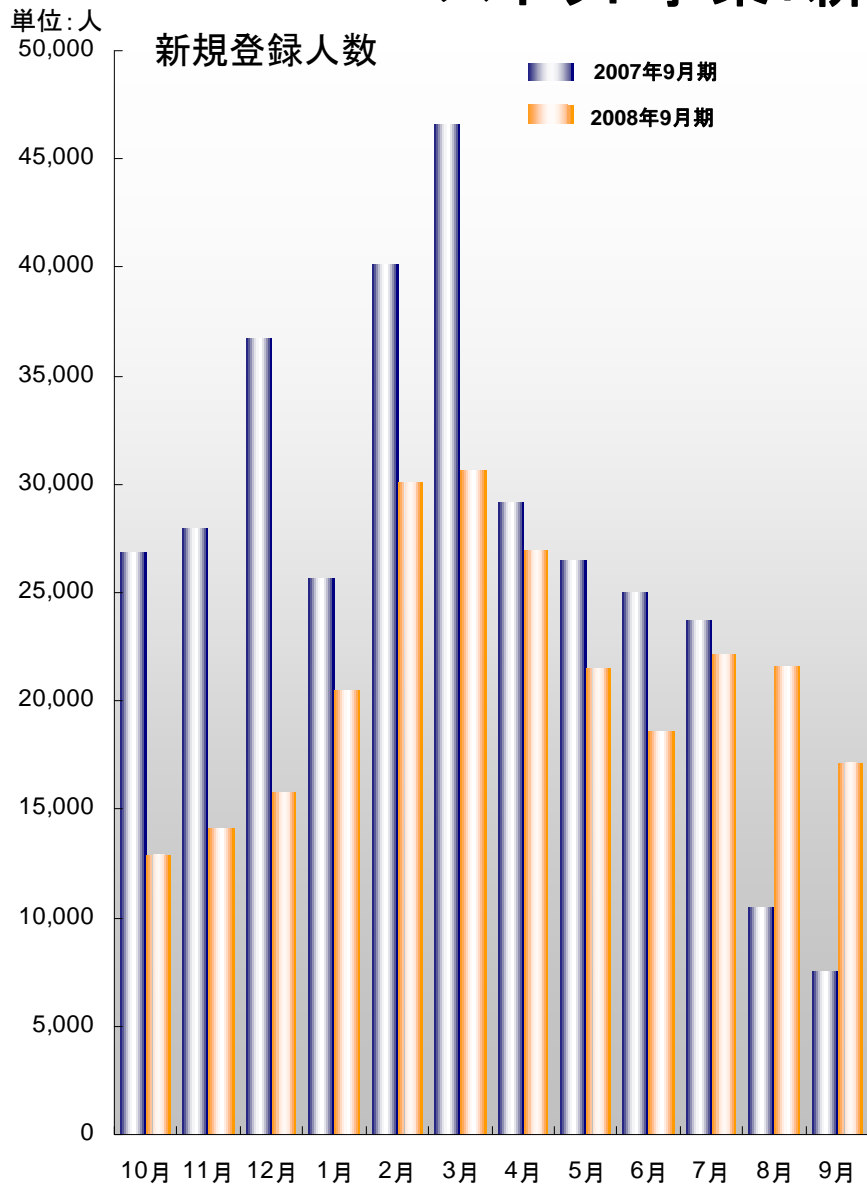
単位:百万円



◆ 前年同期比較で約29億円削減

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

スポット事業：新規登録の登録状況



ファクトリー事業：収益比較

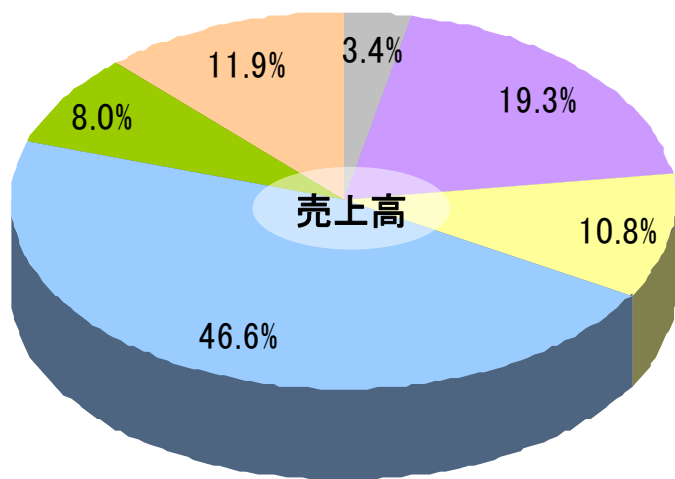
単位:百万円

	2007年9月期	2008年9月期	増減率
売上高	19,398	17,306	-10.8%
営業利益	189	167	-11.8%
営業利益率	1.0%	1.0%	—

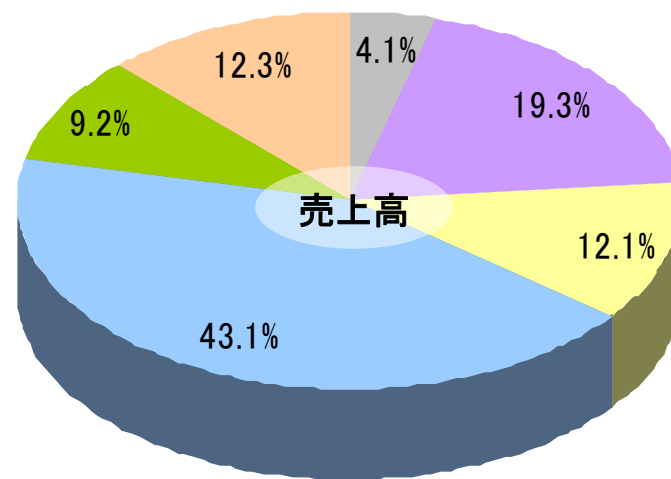
- ◇製造アウトソーシング需要は継続
- ◇受注動向にあわせ求人費コントロールなど販売費及び一般管理費を削減
- ◆顧客企業の生産調整の影響により、一部顧客企業からの受注減少
- ◆スタッフの採用や定着率向上のための福利厚生関連費用が利益を圧迫

業種別売上高構成比

2007年9月期



2008年9月期



- 半導体
- 電子
- 食品
- 自動車
- 機械
- その他

上位20社の占有率

2007年9月期

58.2%

2008年9月期

53.9%

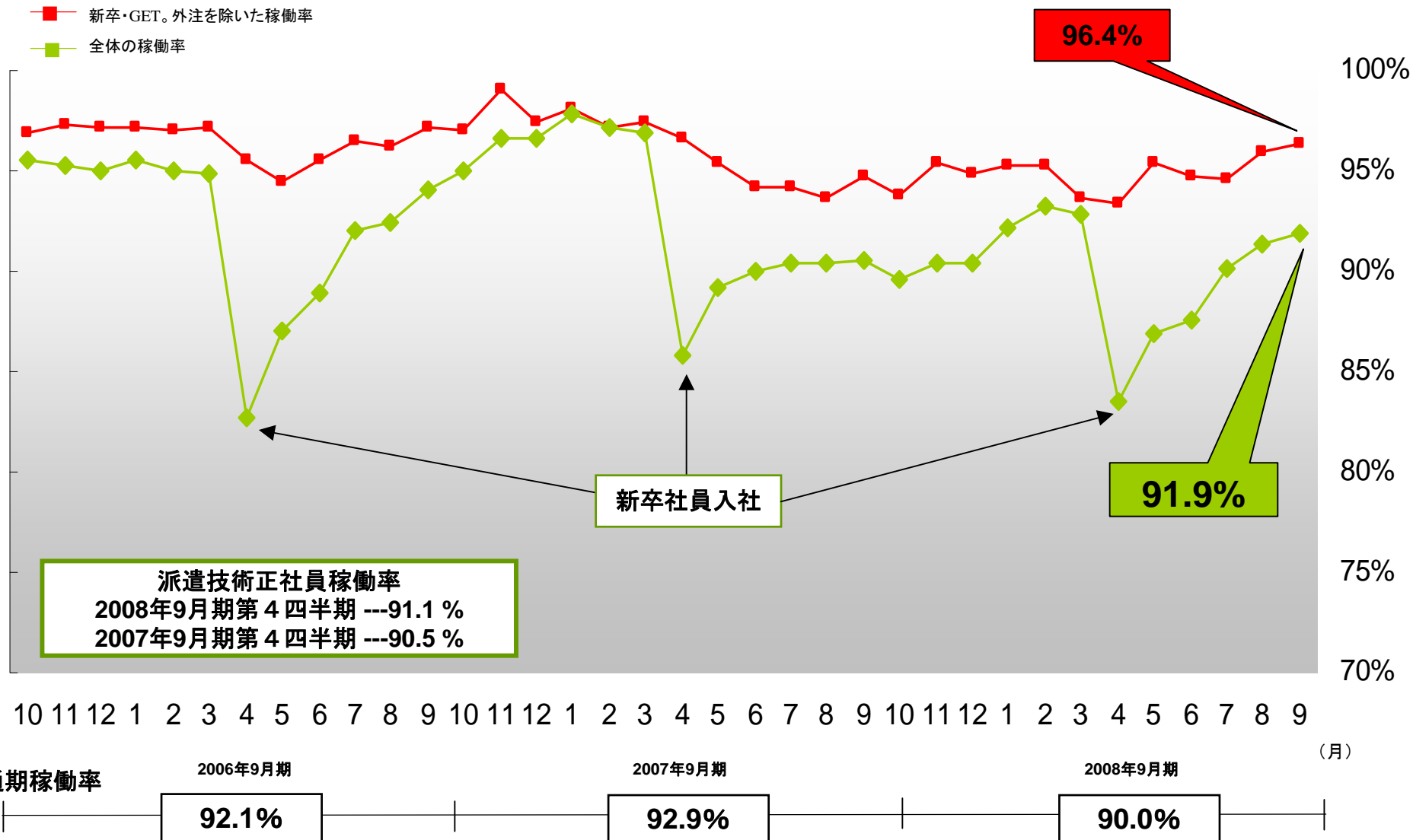
テクノロジー事業：収益比較

単位:百万円

	2007年9月期	2008年9月期	増減率
売上高	18,715	24,931	33.2%
営業利益	979	911	-6.9%
営業利益率	5.2%	3.7%	—

- ◇設計・開発技術分野の技術者派遣ニーズは引き続き堅調
- ◇買収したネットイトワークス(株)が業績に寄与
- ◆受託開発部門において人件費・教育費が増加
- ◆派遣技術者の企業への配属に時間を要し、待機社員増加がコスト負担となる

技術者派遣の稼働率推移



オフィス事業：収益比較

単位:百万円

	2007年9月期	2008年9月期	増減率
売上高	11,837	12,770	7.9%
営業利益	690	315	-54.4%
営業利益率	5.8%	2.5%	—

◇販売活動を強化する企業から営業支援サービスの受注を獲得

◆コールセンターへのオペレーター派遣や一般事務派遣の需要が減少し、

事務職派遣部門が減収

◆営業支援サービス部門にて、将来の戻入金に備えるため引当金計上により

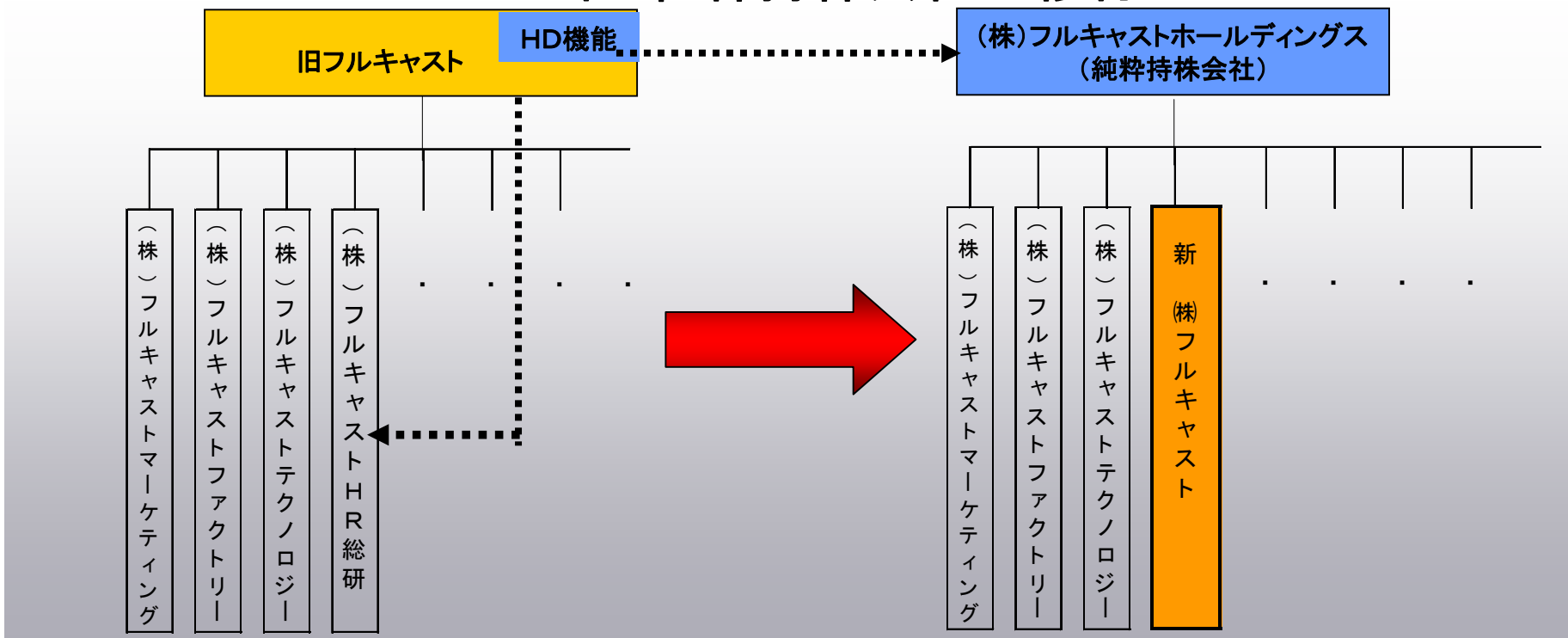
売上高・利益が減少

Agenda

- ◆ **Highlight 2008年9月期 業績**
(2007年10月～2008年9月)
- ◆ **セグメント別営業業績**
- ◆ **2009年9月期 業績予想**

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

2008年 純粋持株会社へ移行



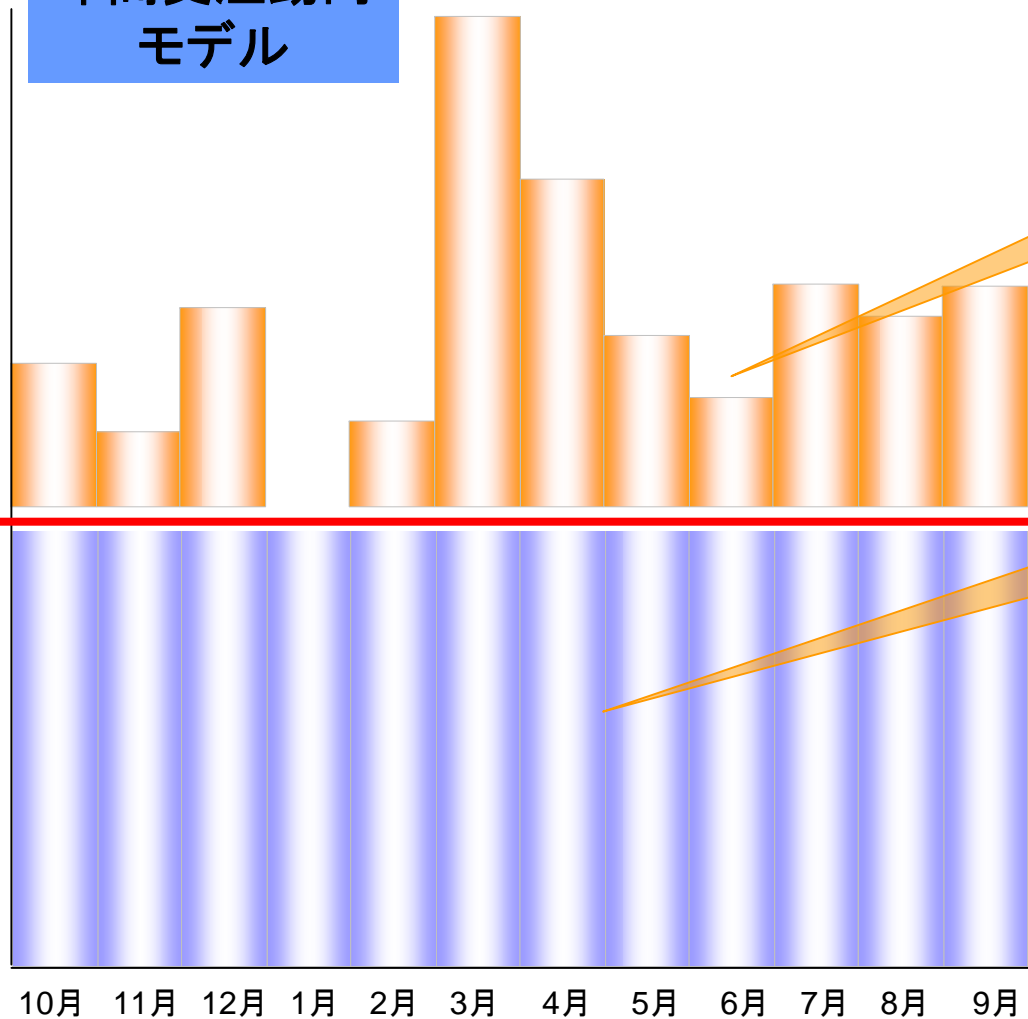
純粋持株会社への移行目的

コーポレートガバナンスの徹底と経営戦略決定・戦術実行の迅速化を図ることで企業競争力を強化するとともに、グループの各事業・各業態が環境変化に的確かつ迅速に対応できるよう、グループの柔軟な再編を促進し、総合人材アウトソーシンググループとして確固たる地位を築くべく、事業の選択と集中を促進

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

ビジネスモデルの転換(1)

年間受注動向
モデル

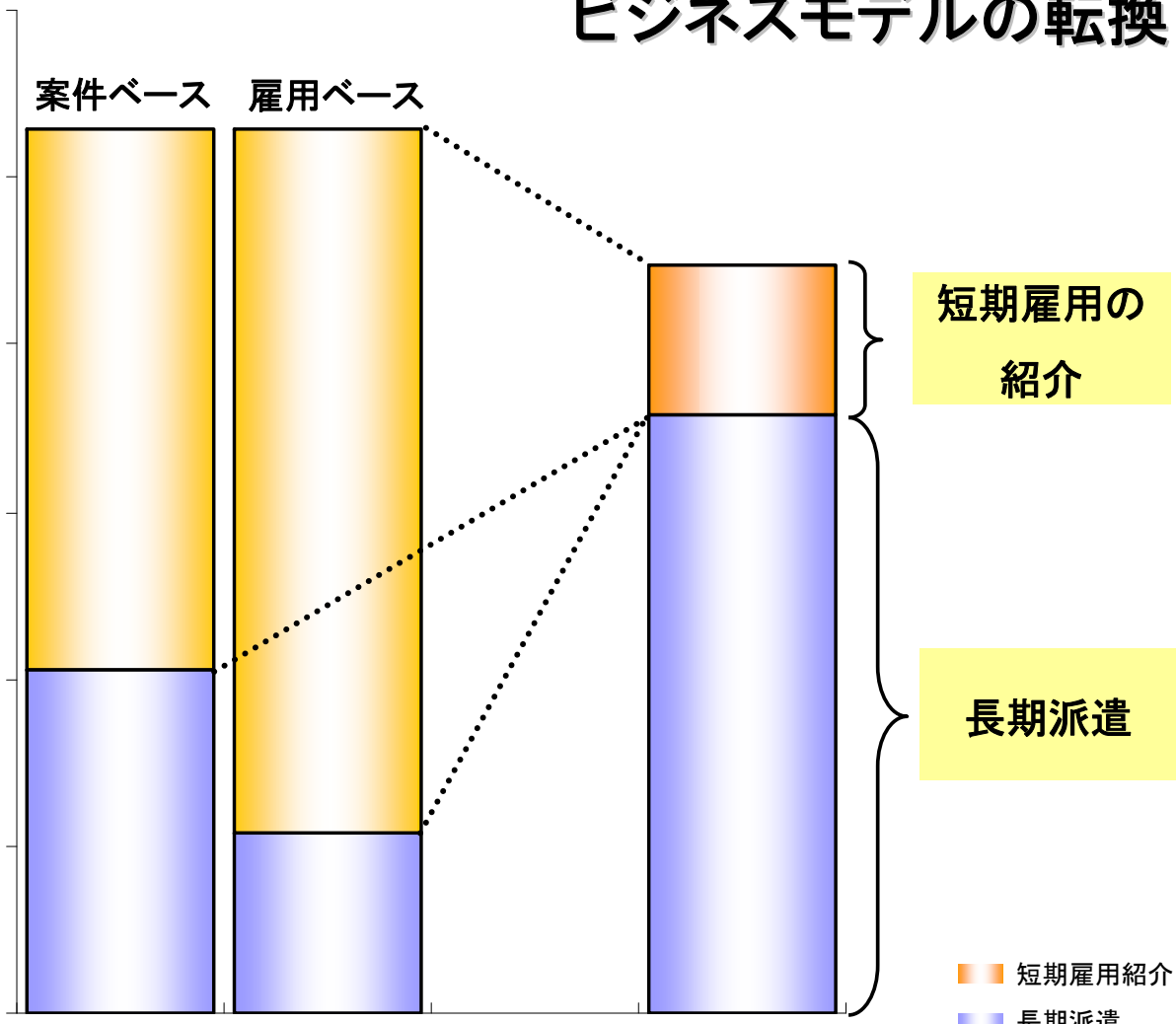


波動部分は短期
人材紹介にて対応

顧客毎に恒常部分を
長期派遣にて対応

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

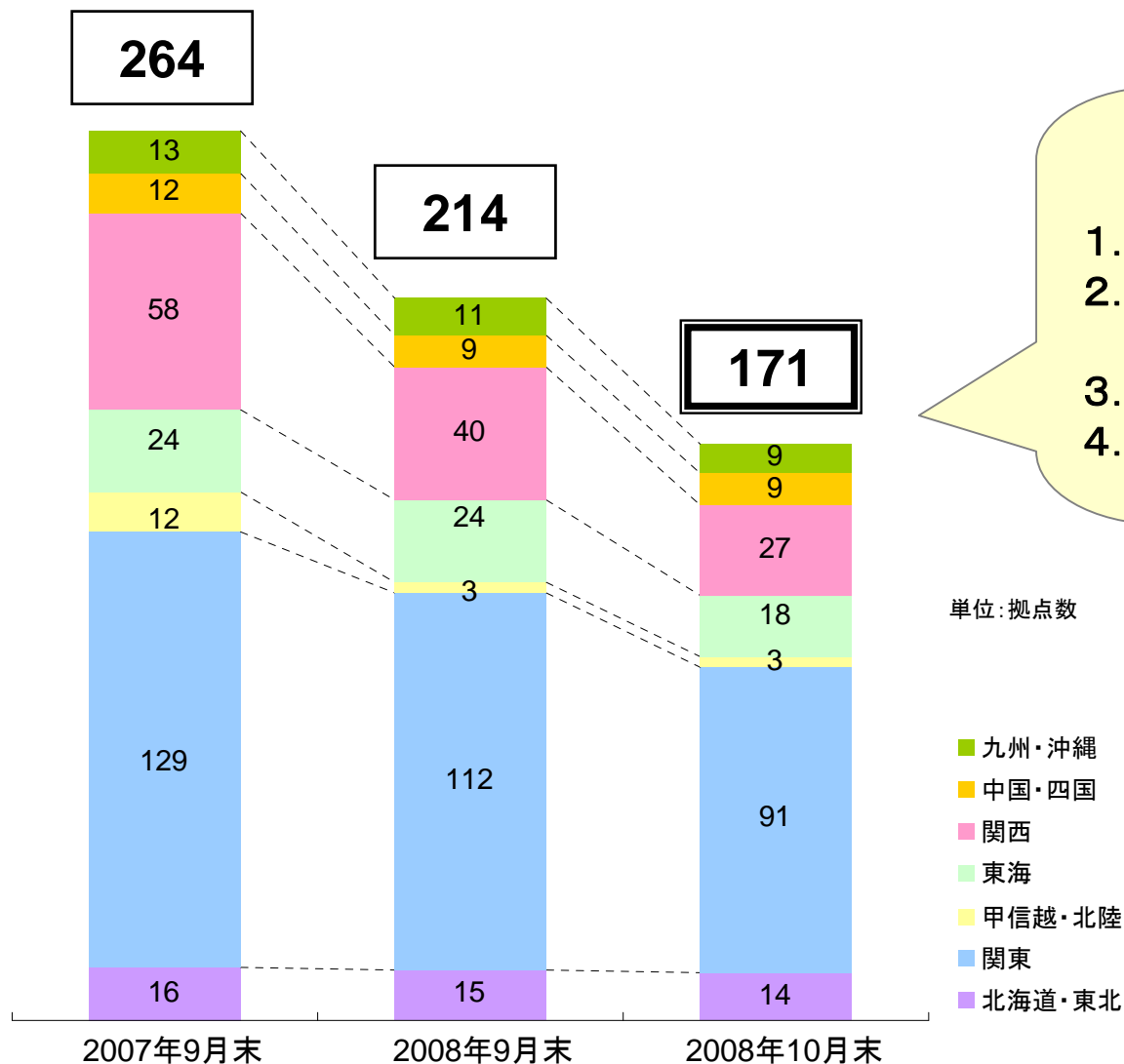
ビジネスモデルの転換(2)



- ビジネスモデル変更により
売上高は減少
- 案件の長期化により
コーディネート業務量の軽減に伴うコスト削減

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

スポット事業：拠点統廃合



統廃合効果

1. 販管費及び一般管理費の削減
2. 大型拠点運営にて
コーディネイト効率向上
3. 拠点の正社員比率の向上
4. コンプライアンス強化

単位：拠点数

- 九州・沖縄
- 中国・四国
- 関西
- 東海
- 甲信越・北陸
- 関東
- 北海道・東北

2008年9月期にて50拠点統廃合

2009年9月期にて43拠点統廃合

※効率性を考慮し、さらなる
統廃合を検討

2009年9月期 業績予想の根拠

スポット事業:

(株)フルキャストにおいてビジネスモデルの転換促進

人材紹介推進にて粗利を確保

拠点統廃合しさらなる業務効率化を推進し、販管費を削減

ファクトリー事業:

製造業の生産調整の影響を考慮

テクノロジー事業:

営業強化により技術者派遣の稼働率が向上

オフィス事業:

一般事務職派遣は景気の影響による需要の減少を見込むも、好調な営業支援

サービス部門の伸長を計画

グループ全体:

非事業用資産(有価証券等)の売却を進め、財務基盤の強化を図る

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

2009年9月期業績 予想

単位:百万円

	2008年9月期 通期実績	2009年9月期 通期計画
売 上 高	98,989	81,000
スポット事業	37,067	29,980
ファクトリー事業	17,306	14,800
テクノロジー事業	24,931	17,980
オフィス事業	12,770	11,340
その他事業	6,914	6,900
営 業 利 益	1,647	870
経 常 利 益	1,530	670
当 期 純 利 益	-2,443	0
E P S : 円	-9,222 ^{.68}	0 ^{.00}
R O E : %	-27.4%	—
期中平均普通株式数 (自己株式除く)	264,864 株	264,864 株
設 備 投 資 額	710	397

ご注意 上記計画は現段階での当社の意向であり確約するものではありません。

まとめ

- ◇ **コンプライアンス重視を経営の基本とし信頼回復に努める**
- ◇ **(株)フルキャストにおいてビジネスモデルの転換を促進する(軽作業分野における派遣の長期化、及び短期雇用に対する人材紹介)**
- ◇ **純粹持株会社体制により、経営戦略決定・戦術実行の迅速化を実現し、外部環境の変化への対応をすすめ、業容の拡大を図るとともに、財務基盤の強化に努める**

すべての人をいちばん輝ける「場所」へ。

『選ばれる会社』へ



THE BANK OF NEW YORK MELLON

米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：100 ADR = 原株1株

米国証券コード(CUSIP)：35968P100

Symbol：FULCY

預託銀行：ニューヨーク銀行

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.

TEL：(212) 815-2077

U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)

Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

お問い合わせ先

IR室：03 - 4530 - 4831

U R L：<http://www.fullcast-ir.jp>

e-mail：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。

Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。